

# 事業報告書

1. 団体名	かめまる情報発信基地
2. 事業名	スタジアムを核とする亀岡活性化事業
3. 対象	事業の対象となった地域や地域住民を記入してください。
対象地域：亀岡市全域      対象者：亀岡市民及び京都府民	
4. 期間	実施期間を記入してください。 ※対象期間は最大で令和5年4月1日～令和6年3月31日までです。
令和 5年 4月 8日      ～      令和 6年 3月 24日	
5. 地域課題・事業目的	支援金申請書に記入した、地域課題・事業目的を改めて記入してください。
<p>&lt;地域課題&gt;</p> <p>「スタジアムを核とする亀岡活性化」の趣旨に賛同し、令和2年度から3年間にわたる地域活性化に資する勉強会や関連活動への参加を通して、京都府民にとって大切な地域資源である「サンガスタジアム by KYOCERA」のお膝元でありながら、亀岡市民とスタジアムとの心理的距離感は大きく、未だスタジアムに足を踏み入れたことがない市民も結構な数に上ることも事実である。</p> <p>&lt;事業目的&gt;</p> <p>このような現状を踏まえ、スタジアム内の空間を想定の上、亀岡市民に還元・貢献する亀岡市民のための、亀岡市民による地域密着型情報発信拠点創りを目指す活動を展開する。</p>	
6. 実施内容	<p>実施した内容を具体的に記入してください。</p> <p>(実施日、場所、内容、講師名、参加者数、参加者の声、その他情報など)</p> <p>また、交付決定に記載の条件・アドバイスに対してどのように取り組んだのかについても記入してください。</p>
<p>1. スタジアム内を想定した亀岡市民のための情報発信拠点設立に向けた勉強会の実施</p> <p>・学びと楽しみの研修会「地域のコミュニティ放送についてのお勉強会、情報発信」</p> <p style="padding-left: 40px;">～スタジアム活性化のご提案～      試合がない時のスタジアムを活性化したい。みんなが集える、利用できる場所にしたい。特に情報から置き去りになりがちな高齢者にも届けられる情報発信基地のプラットフォーム設立を目指して勉強会をした。</p> <p>* 8月26日【ガレリアかめおか】参加者12人</p> <p style="padding-left: 40px;">講師：武市眞治氏（元大手百貨店広告会社取締役、クリエイティブディレクター）</p> <p style="padding-left: 80px;">高嶋佳代子氏（京都コミュニティ放送副理事長、(特非)遊プロジェクト京都理事長）</p> <p style="padding-left: 40px;">コミュニティラジオ局開局に向けての方法・・・ミニFM局、インターネットラジオ局</p> <p style="padding-left: 40px;">コミュニティ放送に詳しい両氏を迎え 情報が発信され、皆様のもとに届く仕組みづくりについて学びを深める。</p> <p>* 9月30日【玉川楼】参加者11人      講師：武市眞治氏。高嶋佳代子</p> <p style="padding-left: 40px;">コミュニティラジオを中心に様々なメディアを使って、亀岡市民と亀岡市行政、京都サン</p>	

ガ F.C.をつなぎ、集まれる場づくりと亀岡の魅力を市内外に発信する方法とメリットを追求した。参加者みんなで現状の問題点などを話し合った

2. 情報発信の基礎となる亀岡の魅力を再発見するための活動実施

- ・学びと楽しみの研修会「介護予防と薬膳料理」参加者による健康体操

＊【チョロギ村・森のステーションかめおか】7月26日 参加者27人

講師：森 隆治氏（NPO 法人チョロギ村代表）

季節ごとに変化する身体に合わせて心と身体に効く薬膳料理の知識を学び、参加者全員で味わう。介護予防の講義と実際に体を動かして体操。

- ・学びと楽しみの研修会「出雲大神宮の歴史から亀岡を知り、情報発信」 【別事業】

＊【出雲大神宮】 11月20日 参加者30人

講師：岩田正憲宮司、野村 格（津軽三味線奏者）

紅葉の元出雲の神社、出雲大神宮で正式参拝を受け禁足の場所を案内される。参加者の中でも初体験の人にとって貴重な経験となった。亀岡市外の参加者もあり、亀岡の魅力を体感できた事業となった。次回の事業を期待する声が多かった。

- ・交付決定に記載の条件・アドバイスに対しての取り組み内容

情報発信の基礎となる亀岡の魅力を再発見するにあたり、京都サンガスタジアム by KYOCERA は大切な地域資源であり、亀岡の一大観光スポットである。しかしながら試合のない時のスタジアムは人の往来も少ない（年間試合数 20 回程度）。そんなスタジアムに足を運んでいただき“集まる、賑わう、繋がる”場所として大いに利活用したく、亀岡の新たな魅力としてコミュニティ放送局を開設し亀岡のいろいろな情報を発信していく拠点とする。

放送局については研修段階ではあるが、コミュニティ放送に詳しい武市眞治氏、高嶋佳代子氏を講師にスタジアム現地を検証し、設置場所について管理者の合同会社ビバ&サンガとも交渉中である。勉強会、研修会は広く参加者を募集し、みんなで問題点などを話し合った。

畑仕事をしながらでもスマートホン等で何時でもどこでも地元の情報が簡単に聞けるような勉強会をし、一步一步仲間を増やしながらか3年後を目指していくつもりです。

7. 成果と課題

事業の実施により、課題解決がどのように図られたのか、申請時の事業計画書と対比させるかたちで、事業の効果や成果と課題を下記の①～④ごとに記入してください。

① 実施結果数値（6. で記入した事業の回数や参加者数などをまとめてご記入ください）

1. スタジアム内を想定した亀岡市民のための情報発信拠点設立に向けた勉強会

8月26日 12人 9月30日 11人

2. 情報発信の基礎となる亀岡の魅力を再発見するための活動

7月26日 27人 11月20日 30人

会員のみ勉強会（スタジアム現地、放送局設置等について4回 延べ20人）

② 事業による変化・成果（課題解決にどのような効果があったのか）

会員の間で得意分野でそれぞれ知識を出し合い分担して事業の運営ができるようになった。

亀岡の魅力再発見の研修会については参加者皆さんから好評を得今後の開催に期待を寄せて頂いた。皆さんは本当に再発見の体験をしていただけたようだ。次年度も参加者のアンケートを参考に亀岡の魅力再発見に向けた事業を展開する予定。

<p>③ 事業を実施しての課題</p> <p>アンケートにより未発見の亀岡の魅力ある地域がまだまだ数多くあることが分かった。素晴らしい資源を広く発信していく上で、市民への広報手段の必要性を感じる。</p> <p>口コミ、チラシ、HP、市の広報誌、コミュニティ放送を広く活用し、多くの市民に参加の機会を提供する。また事業の年間計画を策定し早め早めに準備を始める必要を痛感した。</p>		
8. 協働の効果	<p>今年度の事業実施にあたって、他団体等と協働（協力）された事例がある場合は、その効果や今後の関わり方について、記入してください。</p>	
<p>(特非) 京都コミュニティ放送の協力で場所提供・指導により実践体験・・・</p> <p>「京都三条ラジオカフェ」スタジオ見学、放送機器など視察。亀岡の魅力また当会の事業の告知などを収録体験、放送電波に乗せPRする。ラジオ放送を実際に体験し電波に乗せ多くの人より「聞いたよ」と声かけを頂きラジオ放送の広報力を実感した</p>		
9. 今後の展開	<p>事業の実施成果と課題を受けて、今後の事業展開をどのようにされるのか、申請時の事業計画書と対比させるかたちで、記入してください。</p>	
	実施内容	資金獲得方法（助成金・寄附金）
2年目	スタジアムを核とする亀岡活性化の活動プラットフォーム（メディアスタジアム）を設置予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・亀岡市支えあいまちづくり協働支援金</li> <li>・京都府地域公響プロジェクト交付金</li> <li>・民間団体及び個人からの寄付金</li> </ul>
3年目	ラジオ局開局に向けた具体的又現実的な構想に基づき行動を起こして行く（設置場所、協賛者集め、資金確保）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・亀岡市支えあいまちづくり協働支援金</li> <li>・京都府地域公響プロジェクト交付金</li> <li>・民間団体及び個人からの寄付金</li> </ul>
10. SDGsへの取組	<p>SDGs（持続可能な開発目標）は「誰一人取り残さない」持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標です。2030年までに達成すべき17のゴール（目標）と169のターゲット（具体的目標）から構成されています。</p> <p><u>今回実施された事業によって取り組めたゴールの番号と内容をご記入ください。</u></p>	
番号	取組の内容	
3 すべてのひとに健康と福祉を	あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する	
5 ジェンダー平等を実現しよう	女性のエンパワーメントを促進するためインターネットによる情報の伝達技術の活用を強化する。	
17 パートナリシップで目標を達成しよう	さまざまなパートナーシップの経験を基にして、効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する。	

※チラシや参加者への配布資料、事業実施写真など実施状況が分かる資料がある場合は添付してください。

※記載内容が本様式に入りきらない場合は、適宜追加してください。

### 【これからの事業内容】

- ① スタジアムを核とする亀岡活性化に寄与する事業を進めていくにあたって「かめまる情報発信基地」メンバーで構成する委員会で活動のプラットフォームを構築する企画を練っていきます。
- ② ①と連動した亀岡の魅力を再発見・再認識する活動（勉強会やイベント）を企画・実行し、常に新しいかめおかの魅力を発信することや町の元気アップを住民自ら創造する重要性を市民を巻き込みながら継続し、理解者と協力者を増やしていきます。

【会員になりたい方、活動に参加したい方へ】  
本会のHPからアクセスし、ご参加ください。

### 【発起人の役職・メンバー紹介】

会長	藤岡 美紀子
副会長	前田 厚子
副会長	服部 公子
会計	田仲 信子
委員	上村 礼子
委員	森 照子
委員	川勝 真里
委員	森谷 万知子
委員	平田 千華
顧問	吉中 康子

「かめまる情報発信基地」 事務局  
〒621-0805  
亀岡市安町大池 21 番地 1 前田方  
<お問合せ先：080-9475-1105>

### かめまる情報発信基地とは

令和2年2月に開業した「サンガスタジアム by KYOCERA」は、コロナ禍を経て現在に至るまで、サッカーの試合以外では殆ど活用されていません。また、スタジアムに足を踏み入れたことのない亀岡市民も多いのではないのでしょうか？

このような現状に対して、“スタジアムを大切な地域資源として最大限に活用したい”との思いをもつ亀岡市民有志は、“スポーツだけではなく、生活者の視点からスタジアム活性化に取り組んでいきたい”と考え、『かめまる情報発信基地』を設立いたしました。

私たちは学び・楽しみながら、地域活性化の基本的な知識やノウハウを取得するための勉強会やイベントを企画し、仲間を増やしたいと願っています。

そして、勉強会やイベントを通して、浮彫りになった問題点や課題を踏まえ、「スタジアムを核とする亀岡活性化」に参画を希望する人・組織のネットワークやつながりを生かしながら、スタジアム内の空間を情報発信拠点として活用し、特に情報から置き去りになりがちな高齢者にも届けられるようにと考え、情報発信のプラットフォーム設立を目的とする活動を実施します。



<https://kameamaru-hassin.jimdofree.com/>





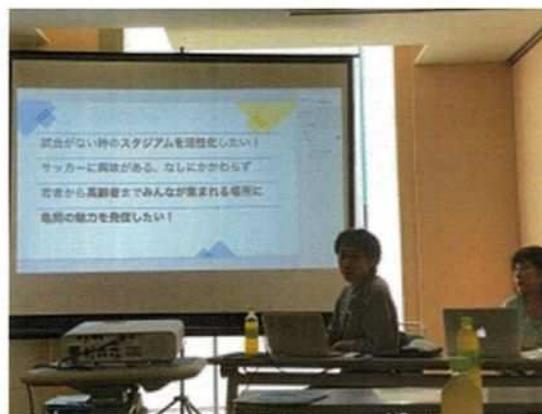
かめまる情報発信基地設立会議 (R5年5月)



↑ 第1回勉強会は「薬膳料理と介護予防」  
↓ 藤岡美紀子会長の挨拶 (R5年7月27日)



ちよろぎ村の森 隆治村長さん  
「健康長寿と薬膳」の講演



第2回 学びと楽しみの研修会  
地域のコミュニティ放送についての勉強会  
— スタジアム活性化のご提案 —  
講師：武市 眞治さん、高嶋 加代子さん  
(五節句文化アカデミア研究員) (京都コミュニティ放送副理事長)



京都三条カフェでのラジオ番組収録  
竹内博士さんが進行役

第4回 学びと楽しみの研修会 (R5年11月20日)  
「出雲大神宮 (元出雲) の歴史から亀岡を知る」  
講話：出雲大神宮宮司 岩田 昌憲さん  
津軽三味線奏者 “itaru” さん





お問い合わせ先：〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1 五筋切文化アカデミア



## 第2回 学びと楽しみの研修会 地域のコミュニティ放送についての勉強会、情報発信！ — スタジアム活性化のご提案 —

「サンガスタジアム by KYOCERA」を大切な地域資源として最大限に利活用したい”という思いをもつ福岡市民有志で『かめまる情報発信基地』を設立しました。皆様も私たちと地域活性化の基本的な知識やノウハウを取得するための勉強会やイベントに参加しませんか？

スタジアム内の空間を情報発信拠点として利活用し、特に情報から置き去りになりがちな高齢者にも届けられるようにと考え、情報発信のプラットフォーム設立を目的とする活動に、ぜひご参加ください。

講師：武市 眞治（五筋切文化アカデミア全任研究員・元大手百貨店放送局社取組員 クリエイティブディレクター）  
高峰加代子（五筋切文化アカデミア監事・(特非) 京都コミュニティ放送 副理事長）

日 時：令和5年8月26日（土）  
会 場：ガレリアかめおか 2階研修室2  
日 程：12時40分～ 受付開始  
13時 ～ ご挨拶  
13時10分～ スタジアムからの情報発信講演 — スタジアム活性化のご提案 —  
14時50分～ 質疑応答（終了15時）

参加費：無料（※ただし、定員20名に達し次第、締切致します）



お問い合わせ先：〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1 五筋切文化アカデミア



## 第3回 学びと楽しみの研修会 地域のコミュニティ放送についての勉強会、情報発信！ — スタジアム活性化のご提案 —

「サンガスタジアム by KYOCERA」を大切な地域資源として最大限に利活用したい”という思いをもつ福岡市民有志で『かめまる情報発信基地』を設立しました。皆様も私たちと地域活性化の基本的な知識やノウハウを取得するための勉強会やイベントに参加しませんか？

スタジアム内の空間を情報発信拠点として利活用し、特に情報から置き去りになりがちな高齢者にも届けられるようにと考え、情報発信のプラットフォーム設立を目的とする活動に、ぜひご参加ください。

講師：武市 眞治（五筋切文化アカデミア全任研究員・元大手百貨店放送局社取組員 クリエイティブディレクター）  
高峰加代子（五筋切文化アカデミア監事・(特非) 京都コミュニティ放送 副理事長）

日 時：令和5年9月30日（土）  
会 場：玉川 楼  
日 程：14時 ～ ご挨拶  
14時10分～ 地域のコミュニティについて—スタジアム活性化—  
15時50分～ 質疑応答

参加費：無料（ただし、定員20名に達し次第、締め切り致します）

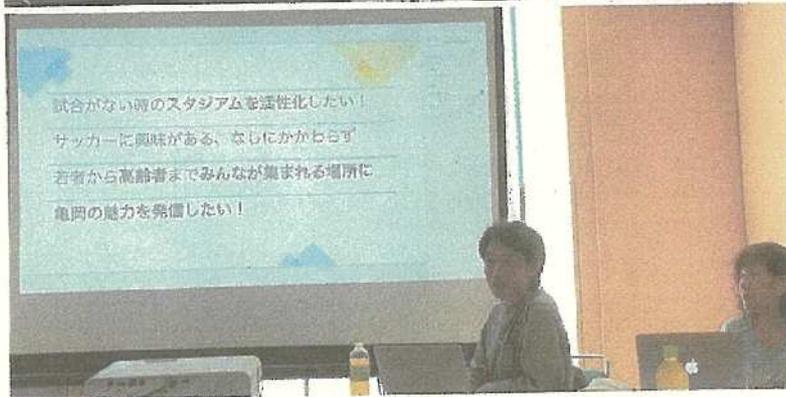


第1回勉強会は「薬膳料理と介護予防」

第2回 学びと楽しみの研修会  
地域のコミュニティ放送についての勉強会  
— スタジアム活性化のご提案 —  
講師：武市 眞治さん、高嶋加代子さん



第2回



第3回



パネル

